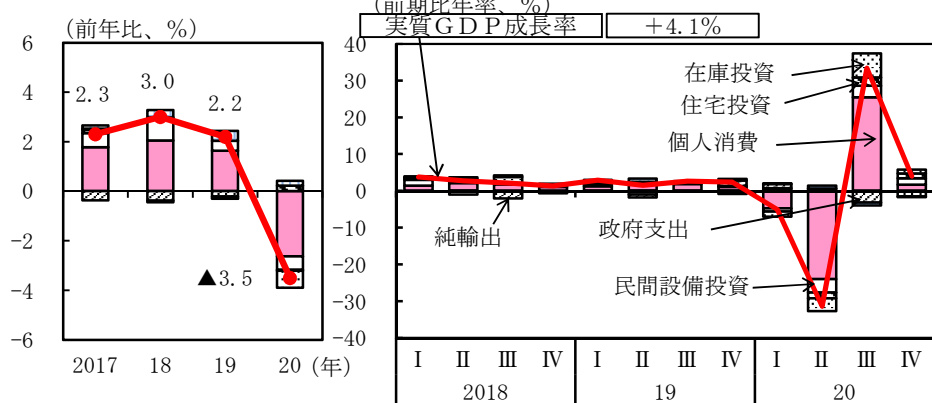


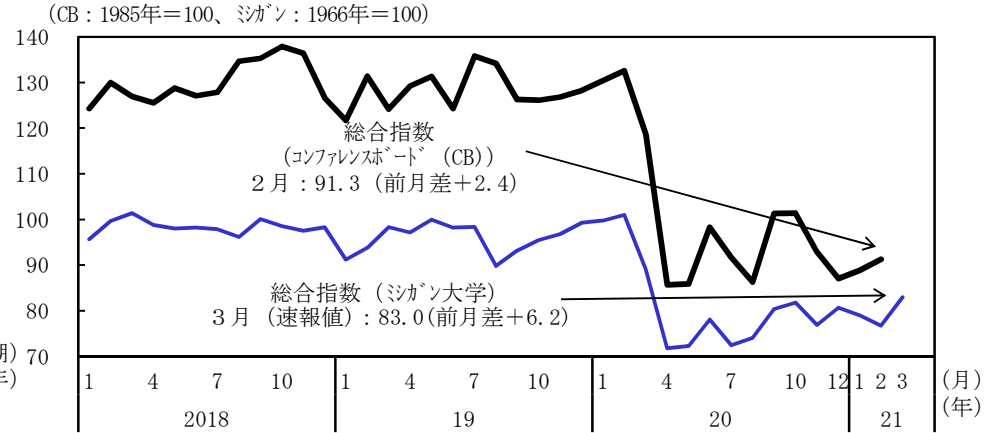
1. アメリカ

○アメリカでは、景気は依然として厳しい状況にあるが、持ち直している。

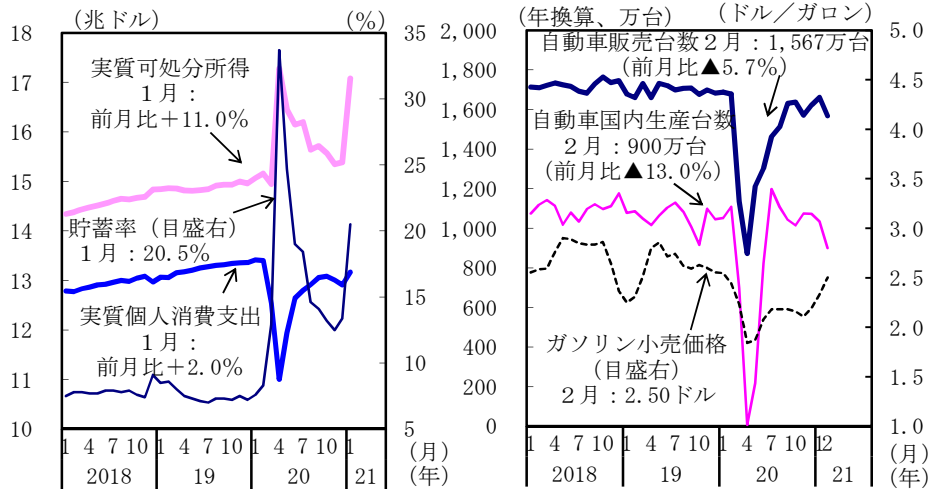
①実質GDP成長率（2次推計値）
2020年10-12月期は前期比年率+4.1%成長



消費者信頼感指数

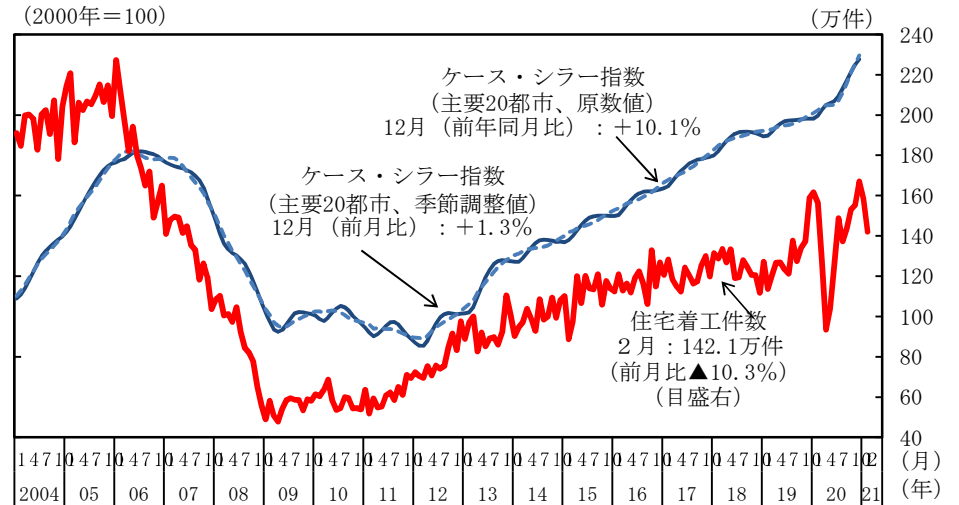


②消費は持ち直し、
自動車販売台数は持ち直し

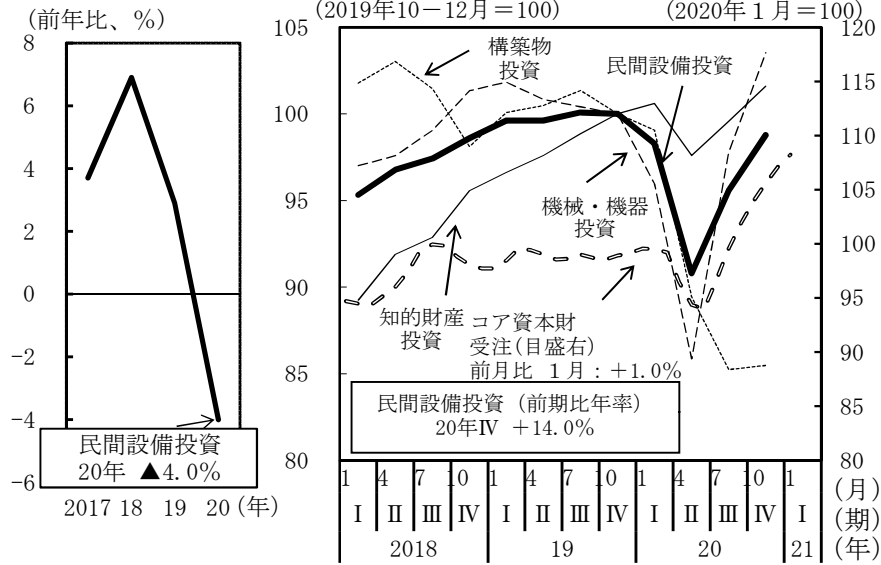


（備考）月次の値は年率換算。

③住宅着工は緩やかに増加、住宅価格は上昇

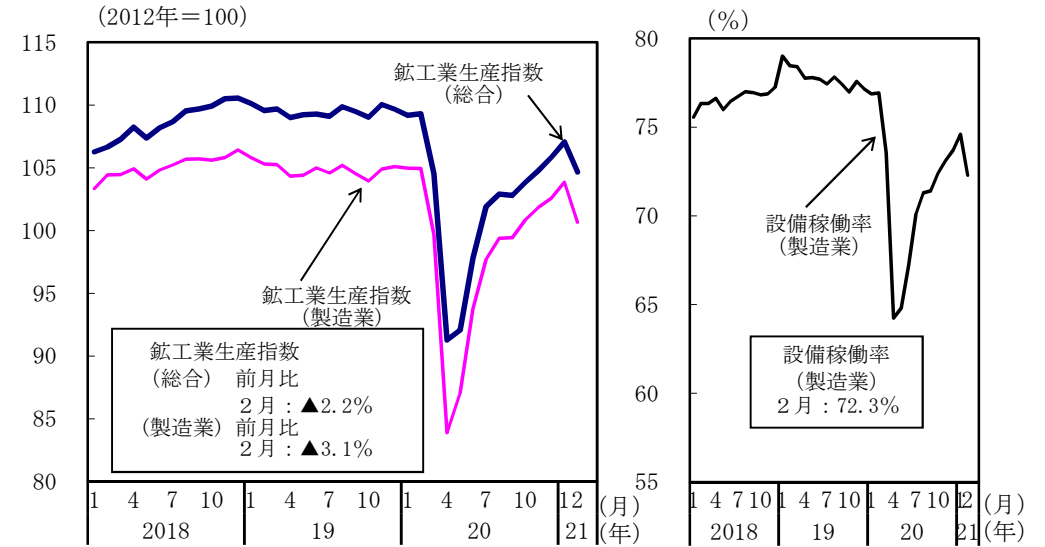


④設備投資は持ち直し

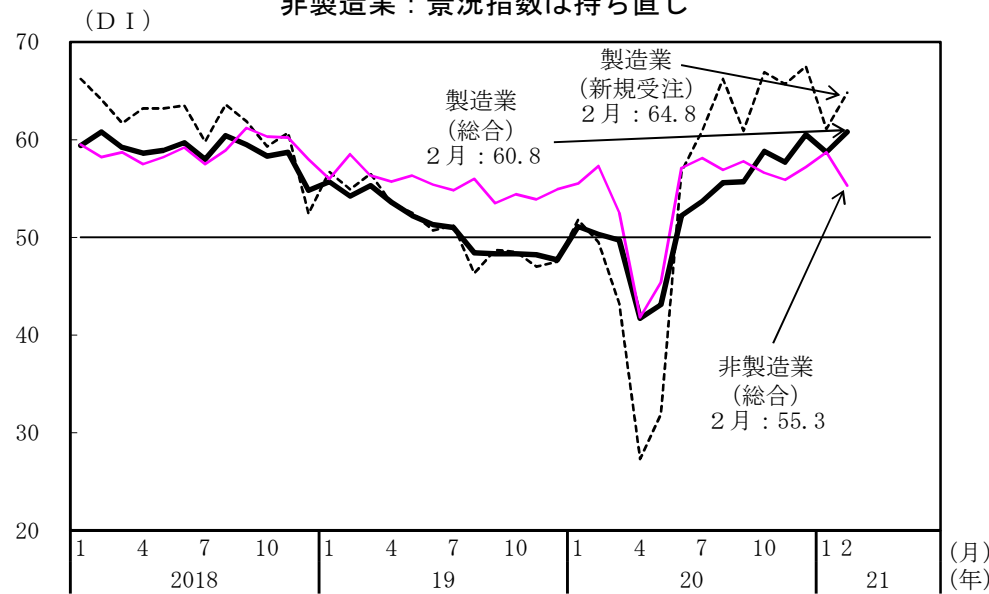


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

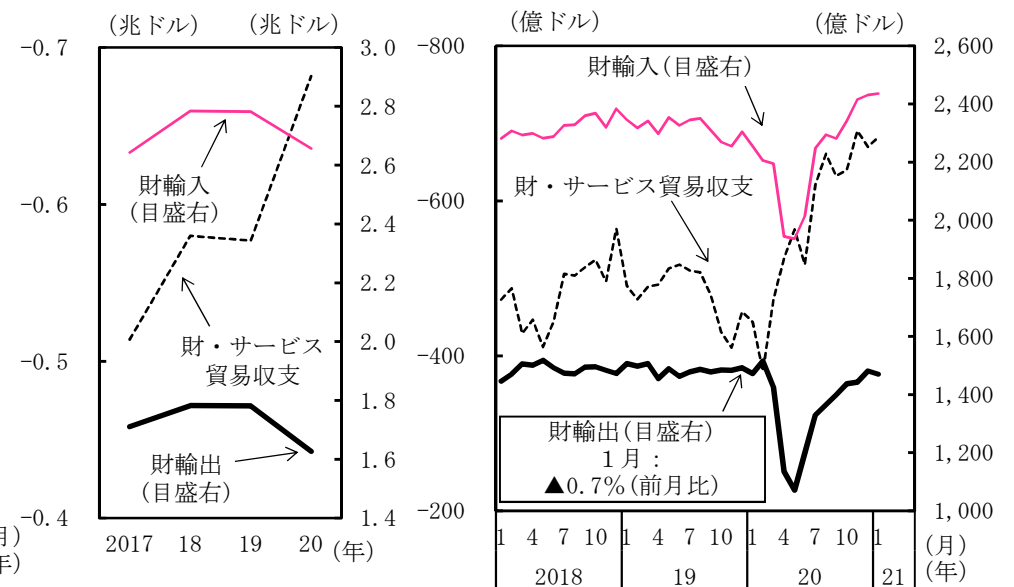
⑤生産は持ち直し



製造業 : 景況指数は持ち直し
非製造業 : 景況指数は持ち直し

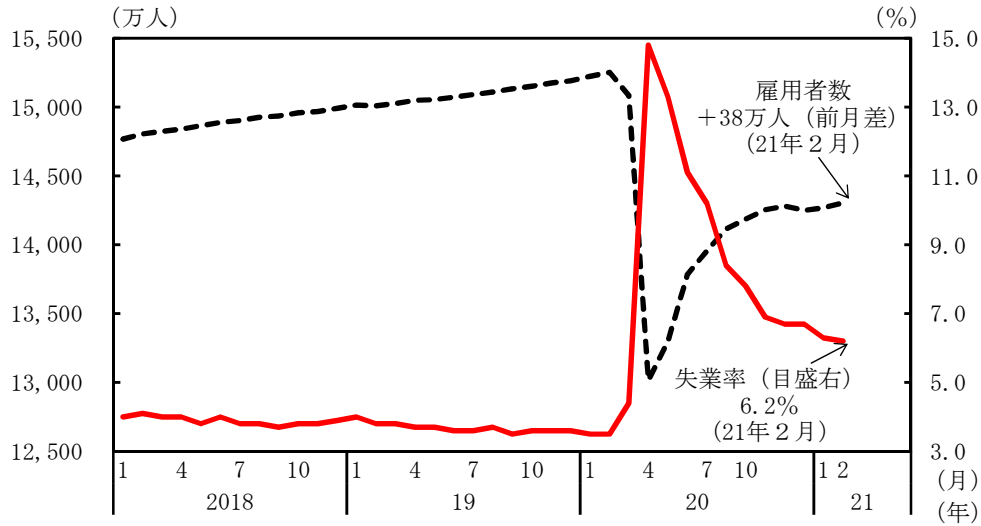


⑥財輸出は持ち直し



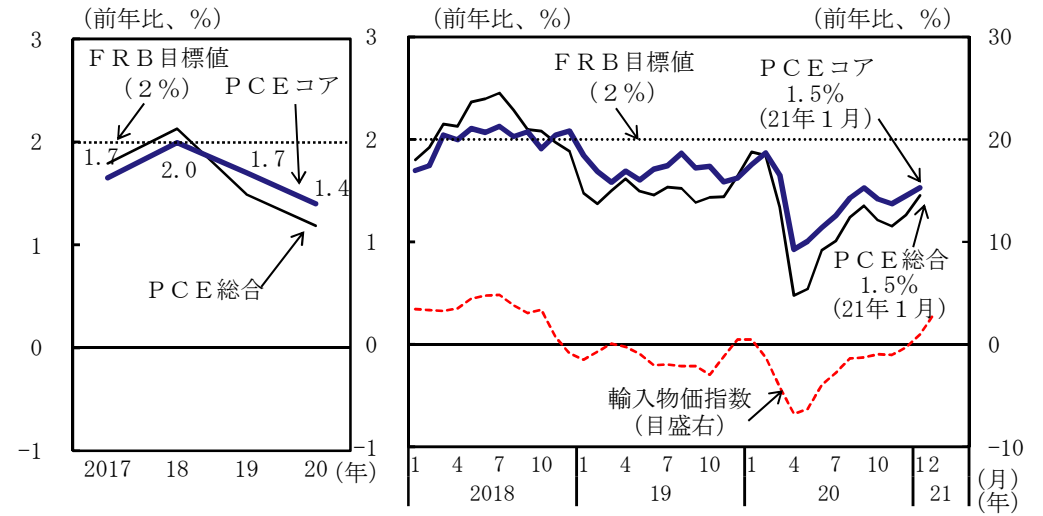
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

⑦雇用者数は増勢が鈍化、失業率はやや低下



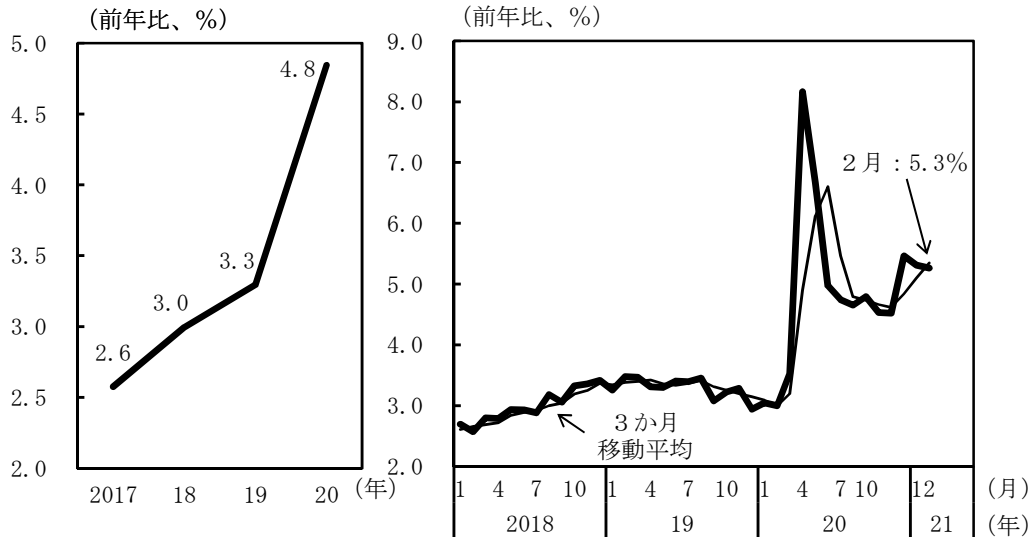
(備考) 雇用者数は非農業部門。

⑧コア物価上昇率はおおむね横ばい



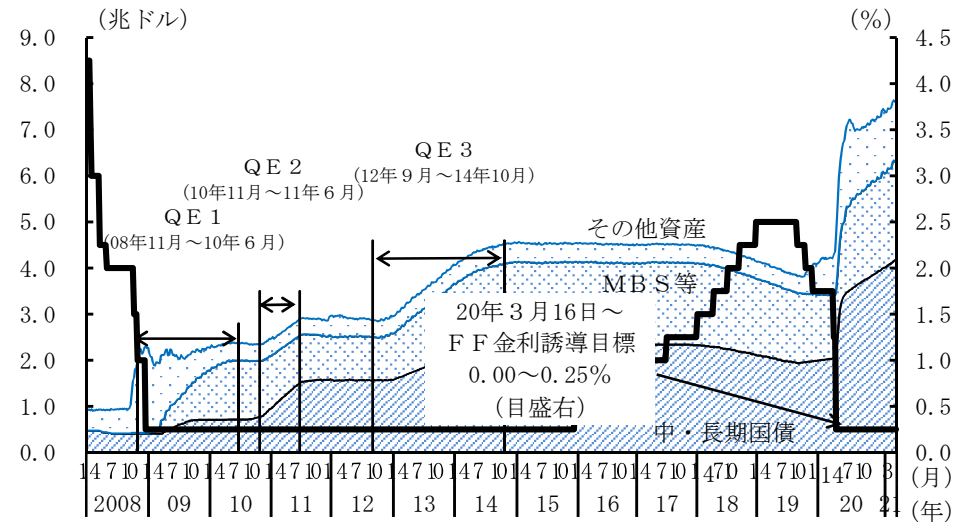
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びはおおむね横ばい



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) 1. FRBより作成。
2. FF金利誘導目標については、上限を指す。